

# オイスカ

in 四国  
www.oisca-shikoku.org/

2020.April.  
vol.20



「オイスカin四国 vol.20」発刊によせて

四国研修センター 新研修生入所!



あなたも参加しませんか？オイスカサポートの輪

大好き日本の食卓 ● No.12 カレール

推進協議会の活動報告

- ◎高知県 ◎徳島県 ◎愛媛県 ◎高松
- ◎香川県 ◎坂出 ◎中讃 ◎三豊 ◎綾川

|    |     |     |
|----|-----|-----|
| 食卓 | 日本の | 大好き |
| ●  | の   | き   |

No.12:カレール



マテ (30)  
ミャンマー・カチン州出身  
[家政研修生]

朗らかな笑顔で研修生のお姉さんの存在です。研修二年目に入り日本語もかなり上達しました。

## カレール

日本の料理を初めて食べたのは、ミャンマーにいた時です。センターでパーティーがある時は、日本で研修したOG達が唐揚げなどの日本料理をたくさん作りました。その時から私は日本料理が好きですが、日本に来てもっと日本料理が好きになりました。私は嫌いな食べ物がないので何でも食べます。うどんラーメン、納豆も大好きです。今年の研修生達は、まだ納豆に手を伸ばさずとしますが、本当に美味しいです。朝、食べると元気がみなぎってきます。

最近、カレールが好きです。センターのカレールの味が、私の家で食べている料理と少し似ているからです。カレールを食べるとふるさとのことを思い出します。カレールは家庭によって味が違います。ホームステイやレストランに行った時は新しい味に出会えるのが楽しみです。センターのカレールはスタッフや研修生、みんなから大人気です。いつもたくさん



研修センターの野菜たっぷりカレール。みんな大好きです

準備しますが、すぐになくなります。日本のカレールには野菜がたくさん入っています。センターのカレールにも、ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、トマトなどがたっぷり入っていて、体にいいと思います。日本人が元気な理由は、野菜をたくさん食べているからだと思います。センターの普段の食事にも、たくさんの野菜を使っているのです。みんな元気に研修をしています。これからも元気を支えられるような料理を学びたいです。



オイスカの会員・支援者になって国際協力活動に参加しませんか？

OISCA オイスカが進める人材育成、海外開発協力、「子供の森」計画および啓発普及活動は、長期的な取り組みが必要です。継続的なご支援をお願いいたします。

今すぐできる支援の方法は5つ 無理なく続けられる方法をお選びください

■支援内容 支援に関する詳細は <http://www.oisca.org/support/> または下記問い合わせ先にご連絡ください

|              |  |
|--------------|--|
| 1 毎月の継続寄附    | 毎月500円でオイスカ活動をトータルにサポート。8月に年次報告書が届きます。<br>●ワンコインサポーター.....500円×12カ月 ※月々の自動引き落とし。<br>毎月2,000円からのオイスカ活動トータルサポート。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。<br>●マンスリーサポーター.....2,000円〜×12カ月 ※2,000円以上、任意(1,000円単位)の金額で月々の自動引き落とし。   |
| 2 自由な寄附      | 各種活動の推進のための寄附です。時期、金額(1,000円以上)、回数は自由で、支援する事業をお選びいただけます。<br>●海外開発協力事業 ●「子供の森」計画事業 ●人材育成事業 ●啓発普及事業(国内の森づくりなど啓発普及全般)<br>●啓発普及事業(海岸林再生プロジェクト) ●トータルサポート<br>.....1,000円〜(いつでも何度でも) ※1,000円以上のお申込みで、金額は任意となります。 |
| 3 「子供の森」計画支援 | 年間1口5,000円で「子供の森」計画を支援してくださる方を募集。支援証、活動を伝えるニュースと現地の子どもたちからのグリーティングカードが届きます。<br>●「子供の森」計画支援.....5,000円/年  |
| 4 賛助会員       | オイスカの活動に賛同し、ともに歩んでくださる方を募集。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。<br>●維持会員.....20,000円/年 ●特別会員.....50,000円/年   |
| 5 集めて送る      | 自宅にいながら参加できるボランティアです。ペルマークは1点=1円で「子供の森」計画に、書き損じはがきは各種活動推進のために使われます。<br>●ペルマーク ●書き損じはがき   |

### 問い合わせ先

|           |  |                   |
|-----------|--|-------------------|
| ◆四国支部     | 〒760-0017 香川県高松市番町2-17-15 第二讃機ビル2F         | TEL:087-821-1503  |
| ◇高松推進協議会  | 〒760-0017 香川県高松市番町2-17-15 第二讃機ビル2F         | TEL:087-821-1503  |
| ◇坂出推進協議会  | 〒762-0011 香川県坂出市江尻町1721-10[(株)石井内]         | TEL:0877-45-0141  |
| ◇三豊推進協議会  | 〒769-1502 香川県三豊市豊中町笠田笠岡3915-3[(株)イナダ内]     | TEL:0875-56-6001  |
| ◇香川東推進協議会 | 〒769-2304 香川県さぬき市昭和5806                    | TEL:0879-52-5070  |
| ◇中讃推進協議会  | 〒763-0034 香川県丸亀市大手町3-2-1[四国電力(株)丸亀営業所内]    | TEL:0877-22-5973  |
| ◇綾川推進協議会  | 〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1[オイスカ四国研修センター内]  | TEL:087-876-3333  |
| ◇愛媛県推進協議会 | 〒795-0064 愛媛県大洲市東大洲1220-1[CELCO JAPAN内]    | TEL:0893-25-0033  |
| ◇徳島県推進協議会 | 〒770-8555 徳島県徳島市寺島本町東2-29[四国電力(株)徳島支店総務課内] | TEL:090-3181-0158 |
| ◇高知県推進協議会 | 〒780-0870 高知県高知市本町1-6-24[高知商工会議所総務部内]      | TEL:088-875-1177  |
| ◆四国研修センター | 〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1                 | TEL:087-876-3333  |



## 新研修生入所!

今年も、海外研修生(地域開発コース5名、家政コース1名)が、2月中旬に四国研修センター(以下、センター)へ入所しました。6ヶ国(タイ・フィジー・フィリピン・メキシコ・モンゴル・ミャンマー)6名の19歳から26歳の素晴らしい青年達です。

入所して10日あまり過ぎたところで、「第14回綾川町民綱引大会」に参加し、研修生全員が生まれて初めて綱引を経験しました。センターが位置する綾川町は、平成5年に香川・徳島両県で開催された「東四国国体」で綱引競技を実施した「綱引の町(当時は綾南町)」として有名です。センターからは3部門(一般男子・一般女子・男女混合)に出場しました。オイスカの全チームの戦績は4勝8敗でした(昨年は9戦全敗)。全員、



研修生、スタッフ等の力が、一つになりました  
戦い終えて、みんなで「ハイポーズ!」



入所式には、たくさんの方々がお祝いにおいでくださいました



粘り強く頑張り、他の大会参加者からも大きな声援をいただきました。その後、2月29日(土)に研修生入所式を行い、四国支部の泉雅文会長はじめ来賓の方々から激励の言葉をいただき、研修生は全員たいへん感激していました。基礎研修(日本語、生活講習他)受講後の5月連休前から本研修に入ります。

今年も、オイスカ会員の皆様はじめ関係の方々とは様々な交流(推進協議会の総会、四国のつどい、ふるさと祭り等)を計画しておりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

オイスカ四国研修センター  
所長 小野 隆

## 推進協議会の活動報告



シイタケの菌打ちは初めてでしたが優しく丁寧に指導いただきました

令和2年1月16日(木)、「四万十よんでんの森」体験学習に参加しました。  
この活動は、四国電力株式会社社が、高知県の「環境先進企業との協働の森づくり事業」に賛賛し、環境教育や森林学習、森林整備など森林保全活動に取り組んでいるものです。  
今回は、同社高知支店の呼びかけで、オイスカ四国研修センター

高知 高知県

会長 青木 章泰

### 「四万十よんでんの森」体験学習に参加



ターの研修生と高知県推進協議会の事務局員が、地元の小学生らとともにこの学習に参加しました。当日は、寒空の下、参加者全員が元気に「シイタケの菌打ち体験」や「モミジとイチヨウの植樹」等を行いました。参加者からは、「穴を掘って木を植えるのが楽しかった」「シイタケが育つのが楽しみ」といった感想が聞かれました。

オイスカ高知県推進協議会では、今後も地域の皆さまとの交流を通して、高知県内でのオイスカ知名度アップと会員増強に取り組んでまいります。



四万十川沿いの植林地。将来は汽車からモミジやイチヨウを見たいです

## 「オイスカin四国vol.20」発刊によせて

オイスカ四国支部  
会長 泉 雅文



オイスカin四国20号発刊にあたり、ひとこと御挨拶を申し上げます。  
日頃から会員並びに関係者の皆様には、オイスカ活動に御尽力と御協力いただき厚く御礼申し上げます。  
オイスカin四国発刊に至るまでの道のりは意外と長く、平成5年の支部発足から13年経った平成18年になります。  
平成5年にオイスカ四国支部が発足した当時を振り返りますと、四国ではすでに研修センターで286名の研修生(昭和44年〜平成4年)の受け入れを行っておりオイスカ活動の礎はできていたものの、まさにバブルが崩壊した「失われた20年」という厳しい時代の始まりでもありました。こう

した背景の中、佐藤忠義初代会長のリーダーシップのもと、四国支部は平成7年から国内外での植林活動、平成13年から始まった四国研修センター独自の「女性生活改善コース」の支援の一環としてセンター増設に協力するなど、オイスカの理念に賛同するだけでなく、資金面においても多大なる貢献を行ってまいりました。また、平成15年からは、オイスカ四国支部の最重要課題である会員増強に取り組み、支部の維持発展に努めてまいりました。こうして平成18年、会員の皆様にオイスカ四国の実情にふれていただくこと、新規会員勧誘のために活用していただくことを目的に、長年の懸案事項でありましたオイスカin四国を刊行することとなったのであります。オイスカin四国は発刊20号となりました。令和となって初のオイスカin四国ということ、なんとも感慨深いものであります。  
平成はバブル崩壊とそこから再生の時代であると同時に平成天皇がご在位30年式典の時に残されたお言葉にもあるように「災害の相次いだ30年」でもありました。しかし、そうした厳しい時代にもかかわらず、オイスカの理念であります「人と人、人と自然が調和した世界」への貢献活動は

ますます広がり可能性をみせ、令和の時代に進んでおります。またご存じのとおり「海岸林再生プロジェクト」は会員以外に多くの方から広く支持され、現在もスタッフ一丸となり取り組んでおります。  
平成27年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)につきましては、昨年9月に安倍総理が国連でスピーチした「SDGsが「誰一人取り残さない社会」を実現するため、人間の安全保障の理念に基づき、世界の国づくりと人づくりに貢献していく」との発言もあり、日本中で盛り上がりを見せています。  
以上のことから、私たちは令和という新しい時代に、研修センターを支える会員組織として更なる飛躍の手助けをする責任があると強く感じております。  
最後になりますが、今まで以上に皆様からのお力添えをお願いするとともに20号まで発刊することができましたことに改めて御礼申し上げます、挨拶とさせていただきます。



佐藤忠義初代会長(右)・石井淑雄前会長(左)





徳島 徳島県

会長 友竹 義典

研修生との交流を通じてオイスカPR!

令和2年1月9日、女性部(会長:若木順子)主催「第12回エスニック料理講習会」をヨンデンプラザ徳島で開催いたしました。これは、研修生との交流をはかり、またオイスカのPRを兼ねた毎年の恒例行事です。

今回は、ミャンマー出身の研修生マテさんを講師として迎えて、11名の方が受講されました。マテさんから、魚とヒヨコ豆などの野菜を煮込んだスープにビーフンを入れた料理(モヒンガー)と、お茶の葉(発酵茶葉)とニンニク、とうがらし等をすり鉢で搗ったお茶の葉のサラダ



講師のマテさんは流暢な日本語で楽しい料理講習会となり皆さま満足の笑顔です



(ラベツ)を、教えてもらいました。初めてのミャンマー料理にもかかわらず、さすがは日々ご家庭で料理をしている主婦の方々が、調理され見事に出来上がりしました。美味しい料理に舌鼓を打ちながら、研修生と参加者の双方が楽しい時間を過ごすとともに、オイスカの交流の輪を広げる貴重な機会となりました。オイスカ徳島県推進協議会では、阿波踊り参加やエスニック料理講習会の開催などを今年度も引き続き実施予定です。皆様ご参加の程よろしくお願いたします。



愛媛 愛媛県

会長 宮嶋 嘉則

愛媛県推進協議会の活動道しるべ

松山空港に隣接する忍那山では、今年も多くの陽光桜が花を咲かせ、鶯で覆われた深い森から桜いっぱい小山へと変化してきています。愛媛県推進協議会では、2011年から当植林を活動のメインに据え、桜の苗木を植えてきました。地質が悪いのでしょうか？我々の植林技術に問題があるのでしょうか？大きく育った木が突然倒れてしまうこともあり、悪戦苦闘の日々が続いておりますが、専門家のアドバイスも仰ぎ、必ずや1000本の桜が咲き



しっかり根付いて大きく育つように、願いを込めながら丁寧に植えました

誇る山に育てていくつもりです。また、昨秋、元日経新聞論説委員の小林省太氏をお招きし、海岸林再生プロジェクトの報告会を開催しました。当会は、講師の方のお話を一方的に聴くのではなく、集まった約20名の会員が、正に車座となり質疑応答を繰り返すスタイルで進行しました。参加者の方からの評判はすこぶる良く、このような形の勉強会(啓蒙活動)を活動の柱の一つに据えることで参加者の方の賛同をいただきました。オイスカ本部のネットワークを活用し、旬の講師をお迎えする勉強会と忍那山の1000本桜。これを二本柱とし、活動の道しるべにしたいと思います。



春先から秋にかけては二ヶ月に一回、すぐに伸びてしまう葛との戦いです

香川 高松

会長 松野 誠寛

研修生支援と会員増強に力を注いでいます!

昨年5月の総会でオイスカ高松推進協議会会長へ就任して以来、3年前のパプアニューギニア・ラバウル研修センターで得た感動を胸に秘め、役員の皆様はじめ会員の方々と研修生支援や会員増強に注力しています。研修生支援では、役員それぞれが関係する施設や行事等に研修生を招いて、お茶会や交流会、ボウリング大会を開催し、研修生の日本



役員宅へ研修生を招いての交流行事には地元の方々も多く参加。楽しいひと時です



文化体験やレクリエーション活動に協力しています。また、一人でも多く日本でも多く日本でも

研修機会が得られるよう、泉雅文四国支部会長の会員増強への取組み(オイスカとSDGs(持続可能な開発目標)との関りや様々な人脈を活用する)を参考にしながら会員増強に努めています。賽の河原の石積みのような、オイスカ活動ですが、今年度も皆様と共に勤しみたいと思っております。よろしくお願いたします。



香川 香川東

会長 富田 義雄

継続は力なり

2011年3月11日の東日本大震災で押し寄せた津波により失われた海岸のクロマツ。人々の生活を守ってきた海岸林。その海岸林の復興再生プロジェクトを、オイスカ香川東推進協議会では微力ながら支援に参加させていただき5年が経ちます。100ヘクタール50万本のクロマツ植林は残り1年となりました。最後まで



「ミャンマー・クロダ」開業式典。澄み渡る青空の下、盛大に開催されました(2018年2月20日)



協力しようと思っております。また、ミャンマー国の農村を豊かにする事業については、工場が完成して2年が経ち、関係者のご協力により従業員は90名を超え稼働しています。その中からテイさんとカインさんの2名が、2月からオイスカ四国研修センターで日本語学習を中心とする基礎研修を受け、4月から(株)クロダ本社で実技研修に取り組みます。引き続き、事業を継続してまいります。



テイ カイン  
ミャンマー・クロダから日本に派遣され、(株)クロダ本社で実技研修に取り組みます



香川一坂出

会長 森崎敏彦

チャリティゴルフ開催

坂出推進協議会では3月27日、高松カントリークラブ(坂出市城山)においてチャリティゴルフを開催いたしました。年度末にも関わらず、39組145名の会員や支援者が参加くださり、雨の天気予報を覆そうとの願いが天に通じたのか、途中には太陽が現れる天気となって最後まで無事に開催できました。各組とも和気藹々楽しくプレーしていただき、ご満足いただ



和気藹々とした雰囲気の中でもグリーン上では真剣なプレー



たように思います。ご協賛いただいた支援企業や各推進協議会からの参加協力にも感謝申し上げます。とともに、今期も研修センターの支援と四国支部の会員増強達成に協力してまいります。



今回の優勝賞品は電子レンジ。「チャリティホールではワンオンせずには是非ご協力を!」と開会挨拶の中で激励する泉会長

香川一中讃

会長 中野百合子

国際ソロプチミストとの連携

毎年開催される国際ソロプチミスト丸亀のチャリティーバザーにオイスカ研修センターの研修生と職員、中讃推進協議会の会員で参加しております。昨年度は11月17日(日)に開催でしたが、天候に恵まれ、また、会場にエレベーターがあるので沢山の来場者で大盛況でした。オイスカの出店ブースではシフォンケーキ・クッキー・漬物・野菜・卵・工芸品などを販売し、研修生には喫茶ルームでお運びを初体験しても



残念ながら今年は新型コロナウイルス感染防止のため中止が決定され、来年こそは!(写真は、昨年の第70回丸亀お城まつり)

らいました。華やかで珍しい民族衣装でのコーディネートやケーキのサービスに、お客様はとも喜んでくださり短期間で習得した日本語の上手さに驚かれました。なお、5月の連休に開催される「丸亀お城まつり」は中讃推進協議会の最重要活動です。このイベントでも研修センターとソロプチミスト会員と協力してオイスカ・エスニックカレーや物品などを販売します。今年は新型コロナウイルスの流行で色々なイベントが自粛されており、どの様な展開になるのか予測が立ちませんが開催の折にはオイスカ・エスニックカレーを楽しみに、保存容器やお鍋を持って買いに来てくださるお客様の期待に応えられるよう頑張ります。

中讃推進協議会もお陰様で会員100名を超える組織となり益々気持ちを引き締め国際ソロプチミスト会員とも手を携えて邁進してまいります。ご支援よろしく願います。

香川一三豊

会長 稲田覚

未来に

2019年12月、カンボジアの世界遺産アンコールワットにあるオイスカ公園の植林地を訪ねた。延べ面積は27ヘクタール・延べ人数180名・植林地数25000本。2005年と2009年の5年間で2016年に植林した樹々は育っていた。最初の植林地では直径15cm・高さ10m位になっている。この植林活動は日本人と韓国人と地元の子供達や人々



近所の人達の手厚い管理によって樹々は大きく育っています

が植えてくれたもので、ここまですメンテナンスをしてくれた近所の人達は、大きく育ったことを自慢そうな顔で案内してくれた。そして子供達の素朴な笑顔は変わらず、私はふっと爽やかな思いが蘇った。現地に寄り添い、必要とされる支援を進めていくことで活動が根付き、若者を育て、お互いへの思いやりが伝わり未来に繋がっていくのを感じている。



植林活動参加メンバーの名前が刻まれています  
日本とカンボジアの友好を願う「オイスカ森林公園」の碑

香川一綾川

会長 大方義裕

「海岸林再生プロジェクト」再視察

オイスカ綾川推進協議会は、令和元年10月22日と24日にかけて宮城県名取市の「海岸林再生プロジェクト」を会員10名が参加し、5年ぶりに再視察しました。

今回の再視察の目的は、最終段階を迎えた「海岸林再生プロジェクト」の植林の現状と前回自らの手で植えた松がどのように育っているのか、また、東北各地がどのように復興されているのかを確認するためです。



50,000円を寄付しました  
現地ではオイスカ本部の吉田部長が案内して下さいました。大変な豪雨でバスから降りることが出来ず車中からの視察となりました。植林された松は非常に立派に育っていました。豪雨の為に、ボランティア活動が出来なかったことが心残りでしたが、東北の海岸線には高い防波堤が築かれ、各地も見違えるように復興されつつありました。被災された皆様に思いを馳せるとともに「海岸林再生プロジェクト」を継続して支援協力している全国の皆様の存在を心強く思いました。



津波の高さを示す名取市関上の慰霊碑(奥)と両陛下の歌碑。即位の礼当日朝、NHKでも歌碑が紹介されていました



台風の影響で刈取が遅れ稲がなぎ倒されている水田